

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	学童保育運営事業			会計	款	項	目	大	小
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	教育総務課				
施策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり		主管課長	根本 政廣				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	保護者が労働等よりに昼間家庭にいない小学校就学児童	意図	放課後に適切な遊び及び生活の場を与え、健全な育成を図る。
事業内容	適切な学童クラブの運営を確保するため、学童クラブを運営する指定管理者に対して「障害児受入れに伴う業務委託料」、「支援員処遇改善に伴う業務委託料」及び「保育料減免に伴う補償金」の支出や支援員・補助員に対する研修等を実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和40年代に生じた鍵っ子に対する対策から事業が開始され、保護者を中心とした運営委員会により自主運営方式で実施されていた。平成24年度から管理運営に指定管理者制度を導入した。学童クラブに対する需要は増大している。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	延べ利用人数	14,703	17,277	20,095	人	↑↑↑	
②	放課後児童支援員処遇改善	0	6,614	11,455	千円	↑↑↑		
③	市主催研修会述べ参加人数	130	130	220	人	↑↑↑		
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果	1～3年生までと障害児の年度当所の入所について、待機のないよう受入れを実施している。						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）				
事務事業の総コスト(a=b+c)	32,016,436	42,624,123	58,293,205	・放課後児童支援員に対する処遇改善について、平成30年度から非常勤の支援員にも支出枠を拡大した。				
事業費(b)(円)	23,160,586	30,542,523	50,114,655	・市主催研修会について、平成30年度は例年1回の所を3回開催した。				
うち一般財源	10,440,586	13,604,523	24,720,655					
職員給与費(c)(円)	8,855,850	12,081,600	8,178,550					
人役・職員(人)	1.29	1.80	1.15					
人役・再任用(人)			0.25					
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	学童クラブへの需要の増加に対応しながら、指定管理者と協働で適切な保育運営を確保していく。	③取組における課題(Check)	学童クラブの需要が今後も増加していく中で、適切な保育運営を確保していく必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	放課後児童支援員の処遇改善を図り、支援員の働きやすい環境を整えた。支援員の質の向上のため、研修を複数回開催した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	研修の更なる充実を図るなど、指定管理者と協働で適切な保育運営を確保していく。